



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 加賀電子株式会社

コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 外茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 川村 英治

TEL 03-4455-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	103,845	△10.7	△470	—	△355	—	△1,373	—
24年3月期第2四半期	116,237	△3.5	771	△70.3	895	△66.1	301	△78.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,053百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △978百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△49.79	—
24年3月期第2四半期	10.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年3月期第2四半期	104,961		45,333		41.9	
24年3月期	114,714		47,936		40.5	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 44,011百万円 24年3月期 46,410百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	0.1	1,500	△27.4	1,800	△29.9	300	△67.2	10.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年11月7日)公表いたしました「平成25年3月期 第2四半期連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	28,702,118 株	24年3月期	28,702,118 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,105,417 株	24年3月期	1,105,201 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	27,596,838 株	24年3月期2Q	27,597,393 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要などを背景に緩やかな回復基調をたどってまいりました。しかしながら、欧州債務危機による世界経済の下振れリスク、長引く円高や株式市場の低迷による国内景気の減速懸念など予断を許さない状況が続いております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、薄型テレビを中心とするデジタル家電関連製品については依然として厳しい市場環境が続いておりますが、スマートフォンやタブレットPCなど携帯情報端末市場は堅調に推移いたしました。

かかる環境の中で当社グループは、経営理念である「すべてはお客様のために」を基本方針として、グループ全体の連携を強めながら、既存大手顧客への拡販やLED照明などの環境関連商品の拡販等に注力し、また子会社の株式会社エー・ディーデバイスが平成24年7月1日付けにて車載市場に精通しているエーエスデバイス株式会社の吸収合併を行うなど積極的な営業活動に注力してまいりました。その結果、車載関連や海外におけるEMS<sup>(注)</sup>の売上高が拡大しましたが、民生機器向け電子部品・半導体や国内アミューズメント関連ビジネスの受注減少およびコンシューマ向け情報機器ビジネスやソフトウェアビジネスの低調により、第2四半期連結累計期間における売上高は103,845百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業損失は470百万円（前年同四半期は営業利益771百万円）、経常損失は355百万円（前年同四半期は経常利益895百万円）となりました。また、業績不振子会社における固定資産の減損処理および繰延税金資産の取崩しなどを行ったことにより、四半期純損失は1,373百万円（前年同四半期は四半期純利益301百万円）となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、車載関連向け電子部品や半導体および海外における事務機器や空調機器向けなどのEMSビジネスの売上高の伸長がありましたが、国内におけるアミューズメント機器向け電子部品や半導体などの受注が減少した結果、売上高は77,783百万円（前年同四半期比6.7%減）となり、セグメント利益は343百万円（前年同四半期比46.0%減）となりました。

## ②情報機器事業（パーソナルコンピュータ、PC周辺機器、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、既存商品の拡販や新商材の発掘に努めましたが、パーソナルコンピュータの販売の落ち込みや家電量販店や専門店向けメモリーカード関連商品の商流変更の影響などにより売上高が減少した結果、売上高は19,270百万円（前年同四半期比27.4%減）となり、セグメント損失は337百万円（前年同四半期はセグメント損失111百万円）となりました。

## ③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、アニメーションなどのCG制作やアミューズメント機器用画像処理ならびにゲームソフトおよび新規商材の販売に注力しましたが、ゲームソフトの売上高減少や発売時期の延期などにより、売上高は1,491百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント損失は403百万円（前年同四半期はセグメント利益163百万円）となりました。

## ④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポートやスポーツ用品の販売など）

その他事業は、リサイクル関連事業やゴルフ用品販売事業などが回復をみせた結果、売上高は5,299百万円（前年同四半期比11.9%増）となりましたが、業務拡大にともなう販売管理費の増加などによりセグメント損失は27百万円（前年同四半期はセグメント利益142百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は104,961百万円（前連結会計年度末比9,753百万円の減少）となりました。これは主に売掛債権の減少などによるものであります。

負債につきましては、59,627百万円（前連結会計年度末比7,150百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の減少などによるものであります。

純資産につきましては、45,333百万円（前連結会計年度末比2,602百万円の減少）となりました。これは主に四半期純損失及び剰余金の配当によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、8,905百万円（前連結会計年度末比789百万円の減少）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,293百万円の収入（前年同期は2,446百万円の支出）となりました。これは主に売上債権の減少などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,695百万円の支出（前年同期は1,449百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、258百万円の支出（前年同期は2,735百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済などによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

## ①平成25年3月期通期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	230,000	1,500	1,800	1,000	36.24
今回修正予想（B）	230,000	1,500	1,800	300	10.87
増減額（B）－（A）	－	－	－	△700	－
増減率（％）	－	－	－	△70.0	－
（ご参考）前期実績 （平成24年3月期）	229,856	2,067	2,569	914	33.13

## ②業績予想の理由

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降、車載関連など成長市場への販路拡大やEMSビジネスの伸長による利益の回復を見込んでおりますが、第2四半期連結累計期間に発生した、固定資産の減損損失および繰延税金資産の取崩しなどの影響もあり上記のとおり修正いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,775	8,985
受取手形及び売掛金	55,979	48,338
有価証券	74	77
商品及び製品	17,104	16,576
仕掛品	334	664
原材料及び貯蔵品	4,115	4,618
繰延税金資産	861	683
その他	6,272	3,937
貸倒引当金	△144	△70
流動資産合計	94,374	83,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,945	3,083
機械装置及び運搬具（純額）	1,492	1,568
工具、器具及び備品（純額）	926	946
土地	4,077	4,121
建設仮勘定	45	123
有形固定資産合計	9,487	9,843
無形固定資産		
のれん	253	883
ソフトウェア	800	468
その他	1,191	1,147
無形固定資産合計	2,245	2,499
投資その他の資産		
投資有価証券	4,032	4,153
繰延税金資産	341	543
その他	5,911	5,434
貸倒引当金	△1,678	△1,324
投資その他の資産合計	8,607	8,806
固定資産合計	20,340	21,149
資産合計	114,714	104,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,748	35,910
短期借入金	11,084	12,129
未払法人税等	1,082	564
その他	5,558	4,566
流動負債合計	59,474	53,170
固定負債		
長期借入金	2,833	1,934
退職給付引当金	1,579	1,614
役員退職慰労引当金	1,399	1,350
その他	1,491	1,557
固定負債合計	7,303	6,456
負債合計	66,777	59,627
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	25,038	23,250
自己株式	△1,333	△1,333
株主資本合計	49,751	47,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△653	△790
繰延ヘッジ損益	△24	1
為替換算調整勘定	△2,663	△3,162
その他の包括利益累計額合計	△3,341	△3,951
新株予約権	0	0
少数株主持分	1,526	1,321
純資産合計	47,936	45,333
負債純資産合計	114,714	104,961

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	116,237	103,845
売上原価	101,913	91,515
売上総利益	14,323	12,329
販売費及び一般管理費	13,551	12,800
営業利益又は営業損失(△)	771	△470
営業外収益		
受取利息	32	20
受取配当金	44	42
受取手数料	105	117
その他	198	252
営業外収益合計	381	432
営業外費用		
支払利息	71	66
為替差損	134	188
その他	51	63
営業外費用合計	257	318
経常利益又は経常損失(△)	895	△355
特別利益		
固定資産売却益	11	4
投資有価証券売却益	187	—
関係会社株式売却益	—	6
その他	0	—
特別利益合計	199	10
特別損失		
固定資産除却損	33	2
投資有価証券評価損	75	184
減損損失	3	122
ゴルフ会員権評価損	19	25
その他	15	0
特別損失合計	148	334
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	945	△680
法人税、住民税及び事業税	677	530
法人税等調整額	△62	238
法人税等合計	614	769
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	331	△1,449
少数株主利益又は少数株主損失(△)	29	△75
四半期純利益又は四半期純損失(△)	301	△1,373
少数株主利益又は少数株主損失(△)	29	△75
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	331	△1,449



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△567	△134
繰延ヘッジ損益	1	26
為替換算調整勘定	△744	△495
その他の包括利益合計	△1,310	△603
四半期包括利益	△978	△2,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,010	△1,984
少数株主に係る四半期包括利益	31	△68

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	945	△680
減価償却費	1,025	1,260
減損損失	3	122
のれん償却額	55	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	217	△384
受取利息及び受取配当金	△76	△62
支払利息	71	66
投資有価証券評価損益(△は益)	75	184
売上債権の増減額(△は増加)	1,081	11,444
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,503	△570
未収入金の増減額(△は増加)	310	829
前渡金の増減額(△は増加)	109	618
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,509	△8,312
未払費用の増減額(△は減少)	△387	△280
その他の流動負債の増減額(△は減少)	274	△465
その他	△67	143
小計	△1,372	3,914
利息及び配当金の受取額	75	63
利息の支払額	△71	△66
法人税等の支払額	△1,323	△1,312
その他	245	693
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,446	3,293
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,478	△1,415
無形固定資産の取得による支出	△219	△205
投資有価証券の取得による支出	△56	△525
投資有価証券の売却による収入	273	30
子会社株式の取得による支出	△10	△43
合併による支出	—	△350
短期貸付けによる支出	△1	△1,208
短期貸付金の回収による収入	19	7
差入保証金の差入による支出	△49	△26
差入保証金の回収による収入	41	21
その他の支出	△99	△105
その他の収入	130	126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,449	△3,695
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,210	1,152
長期借入金の返済による支出	△915	△906
配当金の支払額	△414	△413
その他	△144	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,735	△258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△383	△129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,544	△789
現金及び現金同等物の期首残高	11,796	9,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,251	8,905

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等  
(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	83,411	26,557	1,533	4,734	116,237	—	116,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	800	364	1,781	739	3,687	△3,687	—
計	84,212	26,922	3,315	5,474	119,924	△3,687	116,237
セグメント利益又は 損失(△)	636	△111	163	142	830	△58	771

(注)1.セグメント利益の調整額△58百万円には、セグメント間取引消去△18百万円、のれんの償却額△39百万円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	77,783	19,270	1,491	5,299	103,845	—	103,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	671	349	766	1,164	2,952	△2,952	—
計	78,455	19,619	2,258	6,464	106,798	△2,952	103,845
セグメント利益又は 損失(△)	343	△337	△403	△27	△424	△46	△470

(注)1.セグメント利益の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、のれんの償却額△33百万円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報機器事業」セグメントにおいて、収益低下に伴い営業資産の減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において122百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「電子部品事業」セグメントにおいて、株式会社エー・ディーデバイスとエーエスデバイス株式会社が合併したことに伴いのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において718百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。